

## ③ 妊娠期から子育て期にわたる支援における各分野の連携強化

特に支援を必要とする子供や家庭を支えていくため、母子保健、子育て支援及び障害児支援等の各分野において、それぞれの施策の特長や機能を活かし、連携を強化して総合的に取り組むことが必要

## 【検討の視点と整理の方向性(案)】

○ 妊娠期から子育て期にわたる母子保健、子育て支援、障害児支援の各分野の連携強化の方策について

・支援が必要な子供に早期に気付き、必要な専門的支援につなげる体制の整備

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健、子育て支援、障害児支援の各分野をつなぐ人材の育成</li> <li>・住民に身近な相談機関である保健所・保健センターや子育てひろば等の一般子育て施策における、障害児支援の専門性の向上</li> <li>・母子保健、子育て支援、障害児支援の各分野が連携しやすい仕組みの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健、子育て支援、障害児支援の各分野に精通し、適切な支援につなぐことができる専門人材を育成し、地域の実情に応じ、子供家庭支援センター、子育て世代包括支援センター、子育てひろば等に配置</li> <li>・保健所・保健センターや子育てひろばの従事者に対する、障害の早期発見に向けた専門性向上のための人材育成</li> <li>・各分野の連携強化につながるICTの活用</li> <li>・保健所や保健センターに子育てひろばを併設し、相互の連携を強化</li> <li>・児童発達支援センターの職員が子育てひろば等の乳幼児が集まる場に出張し、専門的な発達相談や従業者への助言を行う等の機能を強化</li> <li>・区市町村がそれぞれの実情に合った方策を選定し、実施できるよう、分野を超えた連携の先進事例について、各自治体の事例の共有を促進</li> </ul>

・障害の有無に関わらず、すべての子供が一般子育て施策を利用できる環境の整備

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てひろば等の一般子育て施策について、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に利用できる仕組みの必要性</li><li>・子育てひろば等の一般子育て施策と、障害児に対する専門的支援を実施する児童発達支援センターの連携強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てひろば等の一般子育て施策において、障害児を支援するための専門職を配置</li><li>・障害児が子育てひろば等の一般子育て施策を利用する場合に、児童発達支援センターの職員が子育てひろば等の施設を訪問し、障害児支援に関する助言を行う等、専門的バックアップの実施</li><li>・区市町村がそれぞれの実情に合った方策を選定し、実施できるよう、分野を超えた連携の先進事例について、各自治体の事例の共有を促進(再掲)</li></ul>